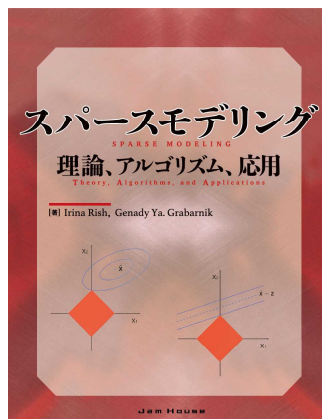


ジャムハウス、専門書『スパースモデリング 理論、アルゴリズム、応用』を刊行

ITと教育の出版社、株式会社ジャムハウス（本社：東京都豊島区、代表取締役：池田利夫）は、スパースモデリングという刺激に満ちた新しい分野への導入となる『スパースモデリング 理論、アルゴリズム、応用』を12月27日(金)に発売します。



スパースモデリングは、測定費用やその他の制限によって、比較的少ない数しか得られていない測定値から、観測されていない高次元の信号を正確に復元する手法です。現代統計学、機械学習、信号処理の分野で活用されており、中でも画像復元、データからのモデル・パラメータ学習、システム障害や人間の病気の診断は、取り組みが期待される例です。

『Sparse Modeling: Theory, Algorithms, and Applications』（Irina Rish, Genady Grabarnik 著）を翻訳した本書は、さまざまな問題をスパースモデリングへ簡潔に導入する試みを行っています。スパース復元に関する最近の理論的な結果だけではなく、応用例、スパース解をもたらす問題設定、スパース解を見つけるためのアルゴリズムも含みます。

さらに、スパースモデリングの重要な発展の俯瞰的な概要、最適化問題の定式化、理論的結果の提示、幾つかのアルゴリズム、様々なスパース復元問題、スパースなグラフィカル・モデルにおける一類型、辞書学習とスパース行列分解などの内容を扱っています。

【本書概要】

- タイトル：スパースモデリング 理論、アルゴリズム、応用
- 著者：Irina Rish, Genady Ya Grabarnik
- 監修／翻訳：竹澤邦夫、大関真之、高橋茶子、竹田晃人、徳田悟、藤本晃司、安田宗樹
- 発売元：株式会社ジャムハウス
- 価格：本体 4,000 円＋税
- 体裁：B5 変型 モノクロ 248 ページ
- ISBN：978-4906768-73-8

■主要目次

- 第1章 導入
- 第2章 スパース復元問題の定式化
- 第3章 理論的な結果(決定論的なもの)
- 第4章 理論的結果(確率論的部分)

第5章 スパース復元問題のためのアルゴリズム
第6章 LASSO とその拡張: 構造化されたスパース性
第7章 LASSO を超えて: 他の損失関数
第8章 スパースグラフィカルモデル
第9章 スパース行列因子分解: 辞書学習とその先
エピソード
付録 A 数学的準備

■書籍のサイトとお求めは

<https://jam-house-media.themedia.jp/posts/7359087>

アマゾン

www.amazon.co.jp/dp/4906768733

【会社概要】

商号：株式会社ジャムハウス

代表者：代表取締役 池田利夫

所在地：〒170-0004 東京都豊島区北大塚 2-3-12 ライオンズマンション大塚角萬 302 号室

URL：<http://www.jam-house.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ジャムハウス 担当：壁（かべ）

TEL：03-6277-0580

Email：mail@jam-house.co.jp